

# 令和8年度 学力向上のための重点プラン【小学校】新宿区立戸塚第三小学校

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1】

授業作り	<p><b>重点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた指導を充実させ、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の向上を図る。</li> <li>・各教科においてICT機器を効果的に活用し、全ての児童にとって「分かる授業」を展開する。主体的・対話的で深い学びのできる児童を育成するため、各教科を通して思考力・判断力・表現力を育む指導の充実を図る。児童一人ひとりが問いにじっくりと向き合い、自分なりの考えをもち、友達との交流やICT等での調べ学習を通して、考えを広げたり深めたりする授業づくりをしていく。</li> </ul>
環境作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習目標や学習活動の明確化、見える化や振り返りができる掲示の工夫、欠席者への配慮等、ユニバーサルデザインの視点を生かした学習環境づくりを進める。</li> <li>・各教員がICT機器を活用した実践などを紹介し合い、よく分かる楽しい授業に向けて改善に努める。</li> </ul>

## ■ 学年の取組について

学年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平仮名や片仮名、漢字を正しい筆順で丁寧に書くことができるようにする。</li> <li>・文章を正しく音読することができるようにする。</li> <li>・具体物の数や数ブロックなどの半具体物の数を数えたり、加法・減法の簡単な計算をしたりすることができるようにする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 空書き、なぞり書きなどのステップを踏みながらの指導。定着を確認するための漢字テスト等の定期的な実施。</li> <li>② 5分間音読を毎日実施、繰り返し声に出して読むことの指導。</li> <li>③ 具体物や半具体物を操作したり、練習問題を繰り返し行ったりする指導。数遊びゲームなどを取り入れ、楽しみながら繰り返し練習できるような指導。</li> <li>④ 家庭学習や朝学習、学習のまとめ等でのデジタルドリルの活用。</li> </ol>
2 学 年	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を正しい筆順で丁寧に書くことができるようにする。</li> <li>・様々な文章にふれ、その内容を正確に読み取ることができるようにする。また、語彙を増やす。</li> <li>・たし算、ひき算の筆算が正確にできる、かけ算九九を正しく暗唱できるようにする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 空書き、なぞり書き、使い方の確認をしての指導の実施。定期的な漢字テストの実施。</li> <li>② 図書室での読み聞かせや読書の時間の確保。</li> <li>③ 計算力の定着を図るため、デジタルドリル、計算プリント、かけ算九九カード等の活用。</li> </ol>
3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語においては、区平均と比較して達成率が下回っており（本校82.9%）、D層の割合が区平均を上回っている（本校31.7%）。短答式・記述式の結果がともに区平均を下回っており、文章を読んで自分の考えを書く力の向上が必要である。</li> <li>・算数においては、達成率が区平均を大きく下回っており（本校65.9%）、D層の割合も34.1%と高い。基礎・知識技能の結果が低く、基礎的な計算の確実な定着が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容を正確に読み取り、自分の考えを言葉で表現する力の育成を図る。</li> <li>・基礎的な計算を確実に身につけるとともに、既習事項を活用できる力の定着を図る。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①音読・視写活動の継続</li> <li>②自分の考えをノートや発表で表現する機会の充実</li> <li>③デジタルドリルを活用しての基礎計算力の定着</li> <li>④朝学習等を活用した計算練習の日常化</li> </ol>
4 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語においては、平均正答率は区平均と比較して6%下回っている。（本校59.2%）特に「書くこと」においては区平均より10%以上下回っており、大きな課題といえる。（本校36.3%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容を正確に読み取り、内容の中心や大事な言葉に気を付けて文章を要約し、根拠をもとに自分の考えを述べる力の向上を図る。</li> <li>・図形の特徴を整理し、正確に作図することのできる力の向上を図る。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①音読活動の継続</li> <li>②自分の考えをノートや発表で表現する機会の充実</li> <li>③デジタルドリルを活用した基礎計算の定着</li> <li>④デジタル教科書や具体物を活用したイメージ化。</li> </ol>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数においては、平均正答率は区平均と比較して下回っている。(本校 66.9%) 特に「図形」においては区平均より下回っており、大きな課題といえる。(本校 62.3%)</li> </ul>		
5 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語においては、平均正答率は全国平均を5%上回り、区平均とほぼ同じ水準である。(本校 75.5%)。領域別に比較しても全国平均を上回っているが、「書くこと」の平均正答率が50%であり、「書くこと」に課題がある。</li> <li>算数においては、教科総合の平均正答率は、全国を上回り、区平均とはほぼ同じ水準であるが、応用問題については、区平均を下回っている。領域別に見ると、図形が区平均と比較して下回っており、図形の見方や面積の求め方に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容の中心や大事な言葉に気を付けて文章を要約したり、資料を活用して自分の考えを根拠付けて書いたりする力の向上を図る。</li> <li>図形の特徴を整理し、正確に作図することのできる力の向上を図る。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①小見出しや要旨を書き出す学習展開の実施。</li> <li>②各教科の学習にて、考えの根拠となる資料を用いて書く学習の設定。</li> <li>③デジタルドリルや記述のドリルを活用。</li> <li>④紙の図形を作成したり、デジタル教科書を活用したりするなどの具体的な操作を伴ったイメージ化。</li> </ol>
6 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語においては、平均正答率は全国平均を上回り、区平均よりも少し超えているが、ほぼ同じ水準である。(本校 72.8%)。領域別に比較しても平均は上回っているが、「書くこと」においては41.3%と課題がある。</li> <li>算数において、平均正答率は全国平均を上回り、区平均よりも少し低い水準である。(本校 71.9%)。応用問題について区平均よりも下回っており、課題といえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を正しく書き、ことわざや慣用句などを使って文章を書くことができるようにする。</li> <li>内容の中心や大事な言葉に気を付けて文章を要約したり、資料を活用して自分の考えを根拠づけて書いたりする力の向上を図る。</li> <li>習熟度別学習を効果的に行い、児童の数学的な思考力を高める。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①文章を要約したり、要旨を捉え、適切な言葉で表現したりする学習の展開。</li> <li>②語彙を増やすため、各教科での積極的な辞書の活用。</li> <li>③デジタルドリルや記述のドリルを繰り返し実施。</li> <li>④発展問題、多種多様な問題の活用。</li> </ol>
特 別 支 援			

